

授業科目名	保育課程論	教員名	椋木 香子	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	選択
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
科目番号	FOI201	配当年次	2年前期		こども音楽療育士	
授業形態	講義				情報処理士	
単位数	2単位					
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	<p>(1)教育課程の意義 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。</p>					
到達目標	<p>(1)教育課程の意義</p> <p>1)学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。</p> <p>2)学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。</p> <p>3)教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法</p> <p>1)教育課程編成の基本原理を理解している。</p> <p>2)教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。</p> <p>3)単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント</p> <p>1)学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。</p> <p>2)カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係						
授業の概要	<p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基準として各園で編成される教育課程・保育課程について、我が国の保育内容・方法の特徴を踏まえたうえで、基本的な考え方や編成の方法を理解する。また、子ども理解、保育記録に基づき各園の状況に合わせて行われるカリキュラム・マネジメントの必要性や地域・家庭との連携、幼小接続についても学習する。さらに、指導計画の作成を通して、保育課程・教育課程の編成の基本的な考え方について学習する。対話・課題型授業、グループワーク、プレゼンテーションを実施する。</p>					
履修条件・注意事項						
授業計画	<p>第1回：保育課程とは何か・教育課程・保育課程およびカリキュラムの基本的な考え方や編成原理について理解したうえで、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の性格と位置づけについて理解する。また、教育課程編成の目的について理解する。（目標(1)-1), 3))</p> <p>第2回：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の変遷と社会的背景・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の変遷と社会的背景を踏まえて、今回の改訂のポイントを理解する。また、子ども子育て支援制度についても学習する。（目標(1)-2), (2)-1))</p> <p>第3回：保育内容と保育方法①・幼児期の特性を踏まえて構成されている我が国の保育内容と保育方法について学習する。特に、環境を通しての保育について、保育の実践をビデオで見ながら具体的に学習する。（目標(1)-2), (2)-1), 2))</p> <p>第4回：保育内容と保育方法②・幼児期の発達の特性と個別の特性を踏まえた教育課程について学習する。特に、遊びを通しての保育について、遊びの事例検討を通じて理解する。（目標(1)-2), (2)-1), 3), (3)-1))</p> <p>第5回：保育内容と保育方法③・子どもの生活に即した教育課程の編成について学習する。海外の実践事例などを参考に、生活を通してさまざまな力を身につけることを学習する。（目標(1)-2), (2)-1), 3), (3)-1))</p>					

	<p>第6回：幼児教育・保育における指導計画・教育課程・保育課程と指導計画の関係について理解し、長期計画（年間計画、期間計画、月間計画）と短期計画（週案、日案、デイリープログラム）の具体的な事例を通して、それぞれの計画の意義・必要性を学習する。（目標(1)-1), (2), (2)-3))</p> <p>第7回：子ども理解と教育課程・保育課程・子ども一人一人の個性の理解と子どもの発達段階を考慮したうえで、教育課程・保育課程が編成されることを理解する。そのためには、子ども理解が重要であることを事例を通して学習する。（目標(1)-2), (2)-1), (3))</p> <p>第8回：地域・家庭との連携と地域子育て支援・教育課程編成における地域・家庭との連携の重要性について理解する。また、幼稚園・保育所（園）・幼保連携型認定こども園に地域における子育て支援の拠点としての役割があることを理解する。（目標(1)-2), (2)-2), (3))</p> <p>第9回：幼児教育・保育における記録の必要性和カリキュラム・マネジメント・保育業務に関するさまざまな記録の種類と意義について学習する。さらに、カリキュラム・マネジメントの視点から記録の必要性について理解する。（目標(1)-2), (3)-2))</p> <p>第10回：幼小接続の現状と課題・幼稚園・保育所(園)・幼保連携型認定こども園と小学校との接続(幼小接続)に関する現状と課題、今後の幼小接続の在り方を踏まえたうえで、小学校との接続を視野に入れたアプローチ・カリキュラムについて学習する。（目標(1)-2), (3)-2))</p> <p>第11回：教育課程・保育課程の編成の実際①・関係法令に基づき、家庭や地域の実態、社会の要請、子どもの実態、各園の教育目標等をもとに教育課程を編成することを、具体例を通して理解する。（目標(1)-2), (3)-2))</p> <p>第12回：教育課程・保育課程の編成の実際②・長期的な指導計画を作成することを通して、教育内容が領域横断的に選択・配列されていることを学習する。（目標(1)-2), (3))</p> <p>第13回：教育課程・保育課程の編成の実際③・環境に応じて子どもの活動が変化することについて事例を通して学習し、教育課程における環境構成（人的環境・物的環境）の重要性について理解する。（目標(1)-2), (3))</p> <p>第14回：教育課程・保育課程の編成の実際④・教育課程・保育課程の例から、どのようにカリキュラムの評価を行うかについて、基本的な考え方を理解する。PDCAサイクルを活かした実践と評価の在り方について学習する。（目標(1)-2), (3))</p> <p>第15回：これまでの学習の振り返り・自分なりの意見をまとめて討論等を通して情報交換を行い、理解を深める。（目標(1)-1), (3), (2)-1), (3)-1))</p> <p>学期末試験</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容についての復習を行うこと。 ・事前学習が必要な場合は事前に指示をするので、テキスト・参考書の該当部分を読んでくること。 ・講義内容を受けて、教育課程・保育課程の作成を課すので取り組むこと。
学生に対する評価	<p>期末試験（50%）、プレゼンテーション（50%）から総合的に評価する。 なお、プレゼンテーションへのフィードバックは、授業中またはオフィスアワーに口頭で行う。</p>
テキスト	<p>北野幸子編著『シードブック 乳幼児カリキュラム論—教育課程・全体的な計画の編成と評価』建帛社、2019年。</p>
参考書・参考資料等	<p>『保育所保育指針』（最新版） 『保育所保育指針解説』（最新版） 『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼稚園教育要領解説』（最新版） 『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』（最新版） 『幼稚園教育指導資料第1集 指導計画の作成と保育の展開』（文部科学省）</p>
担当者からのメッセージ	<p>授業中に議論を行うので、積極的に参加すること。 質問等を積極的に行うこと。</p>
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。)</p>
備考	